

広報誌

ほのぼののだより

～ほのぼのとした暮らし、ほっとできるひとときを～

第4号

秩父市社会福祉事業団

平成30年11月発行



～もくじ～

- 今ありて ～秩父市社会福祉事業団 20 年の歩み～ P 2、3
- 特集『秩父市社会福祉事業団の祭り』 P 4、5
- 僕らの夏休み、とにかく暑い夏 P 6、7
- 連載『風に吹かれて』 P 8
- 趣味『悠・遊』、わたしのお気に入り P 9
- ほのぼの TOPICS P 10
- ケアマネ日記、リハビリコーナー P 11
- information P 12

表紙の写真

秋と言えば、皆さんは何を思い浮かべますか？食欲・芸術・運動…。秋は楽しみで溢れています。笑顔がこぼれる秋の香り。

今ありて Part. 1

～秩父市社会福祉事業団 20 年の歩み～

平成10年に法人が設立され20年、平成12年にほのぼのマイタウンの運営が始まり18年が経ちました。利用者様、ご家族様、地域の皆様と歩んだ歳月、思えばたくさんの出会い、様々な出来事がありました。多くの皆様に支えられ、皆様とともに今にちまで歩んでこれたことは、私たちのかけがえのない宝物です。これまでのご厚情に、心より感謝致しております。

この度、これまでの歩みの思い出のページをめくってみたいと思います。過ぎた歳月は悲喜こもごも、私たち、そして利用者様はもとより、ご家族様、地域の皆様など、ここに集うた人たちの青春の1ページです。

平成10年9月 秩父市社会福祉事業団設立

平成12年 ほのぼのマイタウンの開設に向けて準備が始まりました。

平成11年4月 長寿荘（下寺尾）旧施設運営開始

旧長寿荘、そこは昭和にタイムスリップした世界。食事の合図に拍子木を鳴らし、二層式の洗濯機と壊れかけの湯沸かし器、そして汲み取り式のトイレ。縁側の向こうに広がる庭には、花や野菜を植えて季節を楽しんだっけ…。あの頃、若くてやる気に満ち溢れていた。あれから19年・・・、みんな歳を取ったなあ。

朝の散歩でのおしゃべりが楽しみで、カラオケに民謡、カルタや紙芝居、昔のことや施設のこと、何でも入所者さんが教えてくれて、毎日が新鮮だった。冬は廊下にストーブがあるだけで寒かったけど、みんな仲良く、和気あいあいとしてたから、心はいつも温かかった。いつになっても語り合える素敵な時代、ほんと、離れるのが名残惜しかったなあ。



若い頃はタバコ屋で働いていて、年を取ったから昔の長寿荘に入ったんだよ。古い時は夏は暑くて冬は寒かったけど、みんなで川の字になって寝て仲良くしてたよ。ほんとにみんな、家族のようだったね。広い庭でゲートボール大会や納涼祭をしたなあ、外で食べるご飯もおいしかったっけ。みんなで花を植えて、きれいにして…。桜が満開になると花見が楽しみだったいなあ。近所を仲良しといつも散歩に行くんだけど、職員に黙って出かけて、いつもより遠くに行って暗くなってから帰ったら、心配かけちゃって怒られちゃったんだよ。いっぱい仲良しがいたけど、みんないなくなっちゃった。でも、今の長寿荘も好きだよ。

長寿荘 萩原アツ子



平成12年ほのぼのマイタウン開設

偕楽苑入所者52名、長寿荘48名の方が旧施設から引越し、『ほのぼのマイタウン』での生活が始まりました。あわせて、蒔田デイサービスセンター、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所も事業開始しました。



「ここは天国だよ！」引越して間もない頃、ある利用者さんの言葉です。

遊歩道の整備にバラ園の芝刈り、植木の手入れ、Eさんは、新しい施設が良くなるようにと、沢山の汗をかいてくれました。若かった私達、そして利用者さんも、皆の心の支えでした。お酒が大好きなEさん。ある日外出し一杯飲んで遅く帰り、千鳥足で上機嫌・・・。「今日は偶然、昔の彼女に会ったんだ！」飲みすぎてバツが悪そうでしたが、どこか誇らしそうでもあり、この日は、Eさんにとって特別な一日だったようです。その背中、恰好よかったです。

よいことのあった日も、つらいことのあった日も・・・。待つ人がいて、ここで過ごす幸せ。あの時、あの人がいて、『ほのぼのマイタウン』が家になりました。

突然、見知らぬ若者

たちが介護をすることになった利用者の皆さん、いろんな思いがあったことと思います。いつも温かく、私たちを導いてくれました。最初は名前を覚えてもらうだけで嬉しかったです。しばらくすると、ご家族のことも職員の名前で呼ぶRさんもいて…。いつの間にか、古い友人か家族のようになりました。出逢って数ヶ月、初めての別れがありました。ほんとに心から悲しくて、自然と涙が止まらなくて…。

いろんな人と出逢って別れて、いろんな人と思われ、ここまで歩んできました。

平成12年蒔田デイサービス開所



オープン前日、デイサービスのフロアには建設図面が広がっていました。「なんとかなるだんべえ」ほんとに大丈夫かな？

介護保険が始まって、10日目の出来事です。

初日、ふたりの利用者をお迎えしました。ささやかながら、小さな鉢植えをプレゼントしました。何とか一日終えたあの気持ち・・・。「さあ、明日はどうすんべえ？」ここから、すべてが始まりました。私たちにできることは何だろう？あの日からずっと探しています。

初日利用いただいたおひとりが飯塚さん。いつも玄関で見送ってくれた高校生のお孫さん「朋ちゃん」は、今、偕楽苑で働いています。

時は流れても、人の思いは繋がってゆく。

『あの頃』

あの頃、みんな若くて輝いていた。なんだかギラギラしていた。経験もないのに、さして不安もなかった。知識もないが、怖いものもなかった。ひとつひとつの出来事がみな新鮮だった。二度目の出来事も、三度目の出来事も新鮮だった。新しい出会いはすべて、冒険と挑戦の始まりだった。喧嘩もしたが、笑いもした。喜びを分かち合う仲間は常にいた。喜びを分かち合うと、必ず喜びが増えた。出会う人すべてが先生だった。教科書はないが、師はたくさんいた。何かが変わっていくのが嬉しくて仕方なかった。たくさんの出会いと別れを経験した。あの時、私たちは幸せだった。

今はどうだ、大丈夫、あの時の時間が続いている。

『風に吹かれて』【Heart.7】 偕楽苑 柿沼 仁

特集

秩父市社会福祉事業団の

祭り

ほのぼの感謝祭



ほのぼのマイタウンの事業を、日頃より多くの皆様にご利用いただいております。そして、偕楽苑及び長寿荘での暮らしが充実したものとなるよう、多大なるご協力をいただいていることへの感謝を込めて、平成30年6月17日に『ほのぼの感謝祭』を初めて開催しました。



木村太郎様による熱唱のステージ、利用者の皆様は涙を浮かべて聞きほれていました。いつも素敵な歌をありがとうございます。



パンカリータス様による南米音楽の軽快なリズムは、ウキウキ心が弾みました。



新人職員ハッスルタイム。
それが、お前の限界か?! 精一杯の
パフォーマンスを見せてくれました。



ほのぼの祭り

『ほのぼの祭り』が平成30年9月30日に開催されました。今年の秋は長雨が続いたため、館内で「今日しかできないことやります!」という意気込みで行われました。お足元の悪い中、たくさんの方にご来場いただき大盛況でした。

楽しみにしていただいていた在宅サービス利用の皆様には、ご参加いただくことができませんでした。ぜひ、来年度の『ほのぼの祭り』にご期待ください。



寄居チンドシー座様による熱演



勅使河原先生による
ジャグリングショー



名調子名司会の井深さんと太鼓長の加藤職員
そして、気迫の込めった職員太鼓



皆さんの協力で、ほのぼのマイ
タウンの平和が守られました。



たくさんの皆様にご来
場いただきました。心
より御礼申し上げます。



僕らの夏休み

放課後等デイサービス『ゆくる』で過ごす初めての夏休み。たくさんの仲間とたくさんの経験をしました。出会いと経験の数だけ、思い出が出来ました。またひとつ、大人に近づいたような気がします。

小さな冒険 in 川の博物館

寄居の『川の博物館』に日帰り旅行に行ってきました。はじめての遠出、初めての小旅行…。それは、小さな冒険でした。

少年は、旅した数だけ大人になると言います。



夏だ！プールだ！バーベキューだ！

夏はやっぱり、プールに限る！！若者は若者らしく、昔の若者は若者のように…。とにかく元気に、はっちゃけました！！泳いだ後は、バーベキューでお腹いっぱい。さあ、食うべし！

秩父っ子だもの ～太鼓練習

秩父人は太鼓の音を耳にすると胸躍ります。そして、体のどこかに太鼓のリズムが自然と刻まれています。

ゆくるの仲間も秩父っ子、練習を始めて数カ月このひと夏で、すっかり一人前の叩き手です。



食事の準備できました♪

包丁で切って、油で炒めて、麺はゆでて、ぐつぐつ煮て…。あっという間に、カレーと冷やし中華の出来上がり。味はもちろん、ほっぺが落ちそうです。

今度、誰かにつくってあげようね。



勉強もしたよ！！

とにかく暑い夏

～涼を求めて、風物をたしなむ～



長寿荘夕涼み会

暑さに負けない熱い気持ちで童心に返り、輪投げ、射的、スイカ割りに興じました。夕食は、焼きそば・みそポテト・もつ煮・ラムネの『ザ・祭りメニュー』。夜には花火もして、夏を満喫です。



高篠デイサービス納涼祭

『超本格・縁日』ここに現る。とにかくすごい盛り上がり。幾歳になっても、祭りはウキウキします。見てくださいこの笑顔、素敵でしょ！



川瀬祭り & あめ薬師

梅雨の合間のあめ薬師、今年はすでに真夏の陽気でした。札所13番慈眼寺をお参りし、ぶっかき飴を買って、眼の健康を祈願しました。

そして、夏の到来を告げる川瀬祭り。うだるような暑さの中、元気に頑張る子供たちに、パワーをもらいました。秩父神社をお参りし、ユニクス様のご厚意で花火見学、そして、ビールやお寿司に舌鼓。



連載 『風に吹かれて』 ～心のかたちを知りたくて～

・・・もし心に形があるならば、もし心に色があるならば、たしかな思いを丁寧に紡いで綴ります。

『ただ、なんとなく』

偕楽苑利用者 田中 美智子

96歳になっても、まだ生きている。もうそろそろ死ぬんだと思うが、何となく生きている。よくばりだねえ。どこも痛くないし、もうちょっと、生きていようか。そういいながら、コロッと死ぬかもしれないね。せめて100歳まで生きて見るか、ハッハッハ。

まだ本も読むし、新聞はよく読む。ご飯もホームで出されたものは、みんな食べるし、おいしい。三食たべて、これで十分だと思うが、それでも時々、シュークリームのようなお菓子が食べたい時があるが、身うちがそばにいないから、買ってきてもらえない。ちょっとさびしい。

まあ、これでいいのさ。もう96歳だものね。

仲よくしていた友達は、ほとんど死んだり縁が切れて、さびしい。でも、ここ、老人ホームで新しい友だちも少しは出来て食事を一緒にしたり、お話をしたり結こう楽しいこともある。

久しぶりに字を書いて、案外かけないのにびっくりしている。手がうまく動かないのでなく、目だ、目がよくみえないんだ。他人と話をするのは、あまり困らない気がするが、書くときではなく目だ、目がこんなにダメになっているとは思わなかった。目がダメだから、字がちゃんとかけない。老人って、こんなになるんだね。おしゃべりは結構やかましく出来るんだがな。

もう一人、あいたい人がいる。男性だ。彼は、人間ではなく猫なんだ。名前は「田中来太郎」上品でハンサムでとてもきれいな可愛い子だ。もう20才近くになるが、私がいなくて、さびしいだろう。たった一人でわが家を守っている。近所の人話では、元気で、一人でほとんど家にいて、立派に家を守っているそうだ。

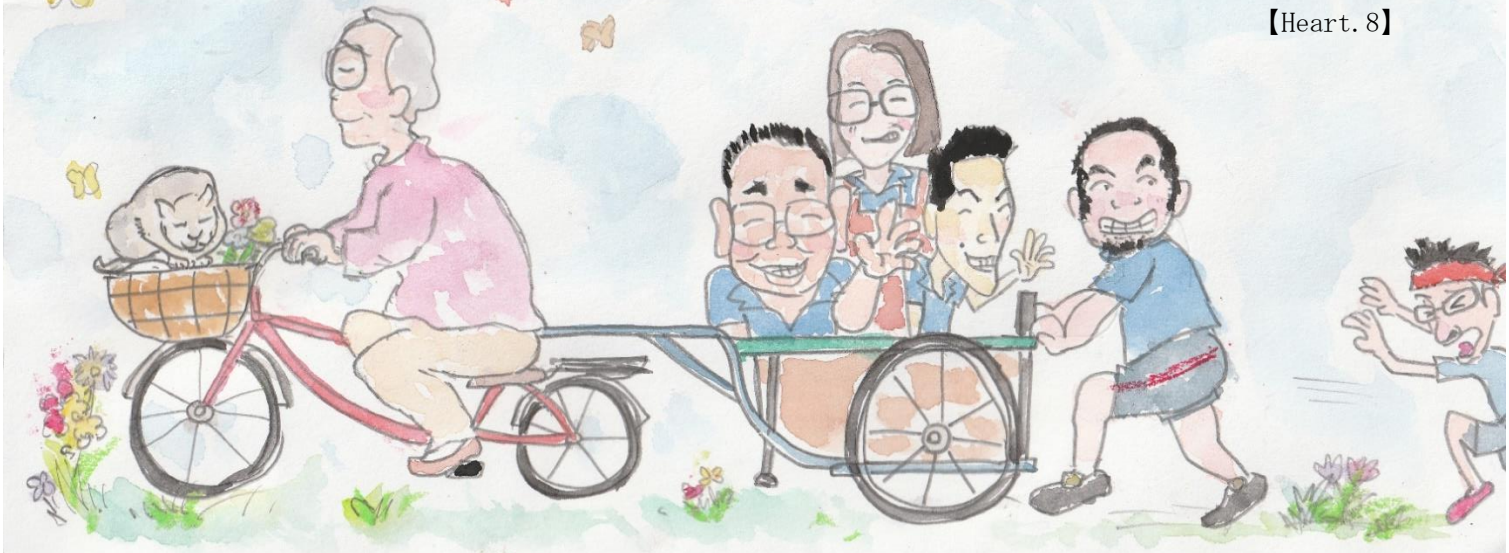
「来太郎、ごめんね。ママはもう、ウチには帰れないかもしれん。さびしいだろうけど、ごめんね。立派に家を守ってくれて、ありがとうね。可愛い来太郎。来太郎よ。」

せめて、死ぬ時は一緒にだきあって死にたいけど、来太郎がここに来てくれるのは不可能だし、私も家に帰ることは出来ない。来太郎よ、さよならね。家を守ってくれて本当にありがとう。さよならね。天国に行ったら一緒にだきあって神様にあいさつしようね。その時は、やわらかい来太郎を思いっきりだきしめたい。

もうこの世に未練はないけど、来太郎のことが可哀想で時々、涙する。死ぬまえに、一度あいたいねえ。長い間ママの子どもとしていてくれてありがとうね。来太郎・・・、さよなら、さよなら。

私があなただのママよ。ママのこと忘れないで、来太郎！ さようなら、さようなら、さようなら。ママは永遠にあなたのこと忘れないからね。さよなら！ 来太郎ちゃん。 ママより。

【Heart. 8】



趣味 悠・遊

皆さんの趣味はなんですか？
今も楽しんでいることをお尋ねしました



深田禮子さん
(偕楽苑)

私の趣味はちぎり絵です。昔から編み物教室を開くなど、細かい作業をすることが好きでした。特別な道具が必要なく手軽にできると思い、ちぎり絵を始めてみました。最初は思い通りの形にならないし、なかなかうまくはいかず、作品を作るのが大変でした。ちぎって貼るだけですが、凝りだすと微妙な色の違いや、より細かく繊細に貼り付けを行うなど、あっという間に時間が過ぎてしまうほど熱中していました。たくさん作品を作っていくうちに決まった形のないパーツをうまく組み合わせることで『自分らしさ』を表現できることがとても楽しいと感じるようになっていきました。今は手先が器用にいかないから、みんなで挑戦する機会があればやろうかな。



関根政子さん
(偕楽苑)

私のおすすめは社交ダンスです。20歳になる頃に運動がしたくてちょうど流行りだったダンスを始めようと思ったけど、近くにできる場所がなかったから、ダンスの先生を呼んで自宅の2階を教室にして始めたの。最初は土地柄か男女で一緒に踊るのに抵抗があったのか、人数がなかなか集まらなかったのよね。少ない人数だったけど楽しく踊ってたのよ、そうしたら、段々と周りにも広まってたくさんの方が集まったの。社交ダンスにはクイックやスローがあって、タンゴやワルツなどのいろんな種類も覚えなくてはで大変なの。でも、それ以上に難しいステップや振付が徐々に上達していくのがとても面白くどんどん夢中になっていったのよ。今はダンスをするのは難しいけど、やりたい人に教えるのはいいかもね。

わたしの お気に入り

職員の趣味 を紹介♪

男として生まれたからには、「最強」の二文字に憧れを抱くのは当然のこと。私にはその最強という憧れにガシッとハマった対象がプロレスラーでした。体の小さい自分にとって、筋肉の鎧をまとった体軀はもちろん、華やかな入場シーンに迫力ある技の攻防、そしてチャンピオンベルトの輝き、そうした非日常世界で行われる戦いの面白さに心奪われました。小さい頃からの憧れは大人になっても変わらず。休日には後楽園ホールや両国国技館へ足を運び、日頃の疲れを思いっきり発散しております。吉祥苑管理者のクラッシャー・バンバン・中島さんと出会ったのもプロレスがきっかけです。昭和期からの筋金入りのプロレスファンであるC・B・中島さんの理論的な説明と私のその場のノリのプロレストークは言ってみれば新日本プロレスと全日本プロレス。闘魂と王道。試合に負けても勝負に勝てばいいんです。記録より記憶です。さあ、高らかに戦いのゴングを鳴らそう！

勝負を超えた 人間ドラマ



高橋浩司職員
(高篠デイサービスセンター)

中島職員
(クラッシャー・
バンバン・中島)

ほのぼのTOPICS ～地域の一員として～

人への想いを食に込めて～LEOC魂

今回は、平成24年より長きにわたり当事業団の食を支えていただいている、LEOC ほのぼのマイタウン事業所の板橋マネージャーに話を伺いました。

○LEOCの会社について教えてください

「当社は北海道から沖縄まで、全国規模で病院、福祉施設、企業、スポーツ関連施設等に食事を提供している会社です。」



思いを語る板橋マネージャー

○LEOCが大切にしているものは何ですか

「何よりも大切にしているもの、それは“人”です。“人のために尽くしたい”という想いを、“食”に込めて利用者の皆さんに喜びと感動をお届けすることです。その結果として自らも成長し、さらに貢献できる会社へと発展していけるよう、常に利用者の皆さんの目線に立って実行に移しています。」

○食へのこだわりを教えてください

「温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく、いつでも美味しい料理を提供するために、工場での一括調理ではなく、現場ごとにその土地の味や、特色のある料理など現地調理を基本として、「手作り」「出来立て」にこだわって食事作りを行っています。また、利用者の皆さんの食事時間や提供方法に合わせて、調理の順番や食材を変えたりして、食べやすい固さ、味などに対応できるように心がけています」



LEOCのみなさん

○最後に一言お願いします

「毎月誕生会を行ったり、そば打ちや握り寿司、天ぷらの実演など、様々なイベントを行うことで、利用者の皆さんにも喜んでいただけているのではないかと思います。私たちが毎日何百食と作る多くの食事、その中の“たった一つ”、しかし利用者の皆さんにとっては“大切な一皿”、この気持ちを忘れずに、マニュアルにとどまることなく、日々利用者の皆さんに喜びと感動を届けられる食事作りをしていきたいと思えます。」

知恵と汗と願いと… 案山子作成

夏の青空のもと、吉田のフルーツ街道で開催された吉田案山子祭りに今年も事業団から、偕楽苑作「蛸」と上吉田デイサービス作「パンダ」の2体の案山子を出展しました。見事、上吉田デイサービス「パンダ」が金賞を受賞しました。

夏の暑い時季から、利用者さんと職員が知恵を振り絞り、流した汗の量は計り知れません。

日本中の話題をかつさらったパンダブームをいち早く取り入れた上吉田デイサービスの案山子は、

パンダ人気にあやかって吉田地域を盛り上げたいという期待を込めて、作成したそうです。パンダと蛸が、世界の平和とフルーツ街道の豊作を祈念しています。



制作の様子

ケアマネ日記

偕楽苑
ケアマネジャー
江田佳生



今回のテーマ『丸メガネの心意気』

施設ケアマネの仕事の中心は、偕楽苑にいる利用者さんの施設サービス計画書（ケアプラン）を作成し、その人らしくより良い生活が送れるよう、皆さんの願いを実現していくことです。偕楽苑の定員は100名です。入所者の方全員の計画書を作成しているのですが、個々にあった計画書を作成するためには、個人個人の心身状態や思いをしっかりと把握する必要があります。一人で100人分の全てのことを把握することができるのか？という疑問があるかと思います。私にとって100人分の情報を隅々まで把握することは、本音を言えば難しいです。私にもっと力があれば…。と思いますが、足りない部分を補ってくれる心強い仲間がいます。介護職員、看護師、生活相談員、栄養士、理学療法士など…。また、利用者さん本人からも様々なことを教えてもらい、皆で協力しながら計画書を作成しています。

そこで皆さんにお願いです。私たちだけでは利用者さんの全てを理解し、その思いに迫ることは限界があります。皆さんの力を貸して下さい。ご意見やご要望があれば気兼ねなくお声掛け下さい。また、ご本人の若い頃の様子なども教えていただけると助かります。お伺いしたお話しを参考にして、よりよい施設サービス計画を作成できればと考えています。施設ケアマネジャーは利用者さんやご家族と関わる時間もありますが、主に計画書の作成や連絡調整等の“黒子”的な役割を多く担っています。皆さんの幸福を陰ながら支える存在です。私は人と話すことが大好きです。利用者さんはもとより、ご家族とも繋がっていたいと思っています。写真をご覧ください。私、丸メガネをしている江田の顔を覚えて頂き、気兼ねなく声をかけて頂ければと思います。

リハビリコーナー

今回のテーマ 『自立への支援』

蒔田デイサービス
理学療法士 島寄理紗



今年は猛暑日が続き、本当に暑い夏でしたね。さて、今回のテーマ「自立への支援」ですが、その前に蒔田デイサービスセンターで行っているリハビリについて紹介します。蒔田デイサービスセンターでは、集団体操と個別リハビリを行っています。集団体操では、イスに座ったままできる上下肢の運動や手指運動、そして脳トレーニングとして考えながら楽しく行う運動も取り入れています。個別リハビリでは、筋肉のストレッチ、関節可動域の運動、筋力強化練習、バランス練習、歩行や階段練習など個人に合わせたリハビリも実施しています。デイサービスセンターの利用者さんは在宅での生活が中心なので、自宅で困っていることの改善や日常生活動作の維持向上に努めています。では、「自立」とは何なのでしょうか。自分自身でできることは自身で行い、家庭内での役割を維持・復活させることが「自立」と私は考えています。デイサービスに来て楽しい時間を過ごすだけでなく、体操やリハビリで心身機能を維持向上することで、生き生きとした家庭生活につながっていくことの支援ができれば嬉しく思います。利用者さんによって在宅での生活状況やご家族の状況などが違うため、その人に合った自立への支援を行っていきたいと思います。最後に、腰や膝など痛いところがあったりご自宅での生活動作などで困っていることがあれば、いつでも気軽に声をかけてください。

Information (秩父市社会福祉事業団からのお知らせ)

ＥＣＯで快適な暮らしに向けて ～施設改修実施～

ほのぼのマイタウンは、開設後 18 年が経過し、設備や備品等の老朽化により修繕等の機会が増えてきました。この度、利用者の皆様がより快適にお過ごしいただけるよう、施設内の照明を LED 化すると共に空調機器の入れ替え工事を実施することとなり、既に着工しております。工事に際しては、利用者の安全確保と日常生活への支障を最小限に抑えるよう配慮し、進めて参ります。施設へお越しの際、皆様にご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力の程よろしくをお願いします。

1. 工事期間 平成 30 年 10 月 17 日（水）～平成 31 年 1 月 21 日（月）予定
2. 工事内容
 - 照明設備 施設内の食堂、廊下、居室、厨房などの主要箇所を蛍光灯から LED 照明に入替え
 - 空調設備 主要装置を灯油式の冷温水発生器から電気式の空冷ヒートポンプチラーに入替え

一緒に働いてみませんか？ ～職員募集～

人の役に立つ仕事をしたい。ふるさと秩父に貢献したい。あなたの思いを実現する場所、喜びに変える仲間がいます。事業団職員として一緒に働いてみませんか？

今年度、職員採用試験を 3 回実施し、介護職 2 名、看護師 2 名が正職員として勤務を開始しました。当事業団では、数年後の事業拡大も見据え、職員採用試験を 2 月 16 日（土）に予定しています。詳細は、後日、事業団ホームページに掲載する予定ですので、是非、ご覧ください。

なお、契約職員・パート職員については随時募集しています。当事業団では、特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・デイサービスセンター等様々な事業を実施していますので、勤務場所・勤務時間等、多様な働き方に対応可能です。また、研修制度や資格取得サポートなどありますので、未経験の方、介護に興味のある方、まずは見学してみませんか？ お気軽にお問い合わせください。

《問合せ先》 法人事務局（総務課） TEL：0494-21-5535 担当：加藤、長谷川

《採用情報》 秩父市社会福祉事業団ホームページ

URL：http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/main3_1.htm

編集後記

朝晩めっきり寒くなっていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。プロ野球はレギュラーシーズンを終えてソフトバンクの日本一で幕を閉じましたが（個人的に野球はメジャーリーグが好きですが）、華々しい表舞台の裏では『引退』という一つの区切りをつけて新しい人生を歩みだそうという選手が数多くいると思います。同年代（わたくし 40 代）の選手たちの引退話を聞くと「ああ自分もそういう歳になったのか...」と、ひとり勝手に感傷的になることが多いです。しかし、サッカーの“カズ”こと三浦知良選手のように、50 歳を過ぎてもまだまだ現役で頑張っている人もいます。最近、体力の衰えを感じることは多々ありますが、今年こそはと思いつつ、実行できてないことがまだまだたくさんあるので、“今年こそは”一つ一つクリアしたいと思う今日この頃です。（ゆ）

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonomytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

